

インフルエンザの患者さんご家族へ

■ 患者さんへ

- ・ 水分をよくとり、安静にして、自宅療養して下さい。
- ・ 他の人にうつさないために、誰かが同室にいる場合や外出時にはマスクをしてください。また、せきやくしゃみは、人のいない方に向かってしましょう
- ・ 手洗いをよくしましょう
- ・ 入浴は、身体が楽なときはかまいません。あまり長湯しないように、また湯冷めしないように注意。寒気が強いときや、からだがしんどいときはやめておきましょう。
- ・ 自宅療養の期間は？
 - ◇ インフルエンザでは、発症(熱発)して5日を経過し、かつ、解熱したあと2日を経過するまで、自宅療養が必要とされています。
- ・ 以下の症状などで、病状が良くならない場合は、再度受診して下さい。受診前に電話で連絡をお願いします。
 - ◇ 高熱が3日以上続く、呼吸が速い、息苦しい、顔色が悪い、2日以上食事がとれない、嘔吐や下痢が続く、症状がますます悪くなってきたなど

■ 家庭内での感染予防について

- ・ 患者さんは、なるべく他の家族とは別の部屋で静養するようにして下さい。同室になる場合は、患者さんには必ずマスクを、同室者もなるべくマスクをした方がよいでしょう。
- ・ 同居の方は、手洗いとうがいを徹底しましょう
- ・ まわりの人で、熱、せき、のどの痛み、さむけ、節々が痛いなどの症状が出た場合は、早めに受診して下さい。
- ・ インフルエンザにかかると重症化するリスクが高いのは、下記のような方です。患者さんとは極力接触しないように気をつけて下さい。
 - ◇ 慢性呼吸器病、慢性心臓病、糖尿病、腎機能障害(透析中の方)、関節リウマチ、ステロイドホルモンなど免疫を抑制する薬を使っておられる方。その他免疫力が低下している病気の患者さん
 - ◇ 妊婦、乳幼児、高齢者